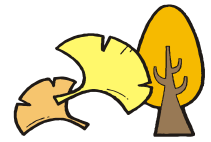




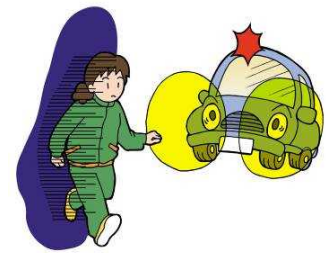
前照灯早め点灯 4時からライト!



毎年、10月から12月の3ヶ月は、死亡事故など重大な結果となる交通事故が多発しています。

昨年、10月に1人、11月に5人、12月に5人と、3ヶ月で11人（一昨年より6人減）の人が亡くなっておられます。一昨年より減少傾向ですが、特に11月、12月は5人と多くの方が亡くなっておられます。

なぜ事故が多い?



① 日の入り時間が早くなるから

<滋賀県（大津市）の日の入り時刻>

9月1日	午後6時24分
10月1日	午後5時41分
11月1日	午後5時03分
12月1日	午後4時45分

9月1日と12月1日では、約1時間40分も早くなっており、通勤や買い物など交通量が多くなる時間帯と、薄暗くなる時間が重なり、交通事故の危険性が高まります。

② ライトを点灯するタイミングが遅くなるから

7月や8月は午後7時を回ってもまだライトが要らないほど明るいですが、「秋の日は釣瓶落とし」と言われるように、「まだ早い」と思っているうちに辺りが暗くなって、道端の歩行者に「ドキッ」とした、という経験をお持ちの方も多いのではないでしょうか。

③ 気候が良く、外出の機会が増えるから

紅葉狩りやドライブなど行楽に絶好の時期で、自動車等での外出の機会が多くなるほか、ジョギングなど屋外での運動の機会も増えます。



④ 年末が近づくとつれ気ぜわしくなるから

年の瀬に向けて事業活動が活発になり、交通量が増加します。

どんな事故が多い？

昨年の10月から12月の交通事故を分析しますと、3つの特徴があります。

① 薄暮時間帯(16時~18時)に多発

昨年の10月~12月の交通事故のうち、65件(約14.6%)が薄暮時間帯に発生しています。

② 死亡事故が多発

昨年の死者53人のうち、11人(約20.8%)がこの3ヶ月に亡くなっています。

③ 高齢者事故が多発

昨年の高齢者が関わる交通事故1,470件のうち、410件(約27.9%)がこの3ヶ月間に発生しています。

事故防止対策は？

① 前照灯の早め点灯を！

「早め点灯 4時からライト！！」を合言葉に、自動車も自転車も早めにライトを点けて存在を目立たせましょう。



② 明るい色の服装や反射材を身に付けよう！

特に高齢者の方は、自動車などから早く見つけてもらえるように工夫しましょう。



③ 速度を落として走ろう！

薄暮時間帯は辺りが見えにくいので、昼間より10キロは速度を落として走行しましょう。

④ 全席シートベルトの着用を！

自動車乗車中の死者10人(8月末)のうち、4人がシートベルトを着用していませんでした。シートベルトを着用していれば、非着用の4人全員が助かった可能性があります。

大難を小難にするのはシートベルトです。後部座席も必ずシートベルトの着用を！

⑤ 飲酒運転の根絶を！

飲酒運転が関係する事故は、8月末で37件は発生しており、3人の方が亡くなられ、47人もの方が負傷されており、いずれも昨年同時期より増加しています。

絶対に飲酒運転はいけません。みんなで飲酒運転を根絶しましょう。



10月から「早め点灯 4時からライト」で

夕暮れ事故をストップ！